

山火事にはご注意を！！！！

これからの時期、休日にハイキングやキャンプ等で山に登る機会が増えていきます。

ですが、空気はまだまだ乾燥しているため、火の取扱いに注意しないと、山の中では大惨事になりかねません。皆様、火の取扱いには十分に注意して、余暇を楽しんでください！



さて、我々消防署では万が一の山火事に備えて、山火事対応訓練を毎年実施しています。今回は、その中でも「ジェットシューター」と「小型動力ポンプ」について紹介したいと思います。



「ジェットシューター」

操作性の高い背負式消火水のう(約18ℓ)で、消防隊員が背負って消火を行う資器材です。山火事では、消火に使用する水を山火事の現場まで運ぶことが大変困難です。この資器材を使用することで、隊員が徒歩で水を運ぶことができます。

また、消防では、クラスA泡消火薬剤(通称:A泡)※1を活用し、消火効率を上げて消火活動を行うことがあります。今回の訓練では、ジェットシューター内に消火薬剤を混合し、水だけの放水と消火薬剤を混合した水での放水を比較実験しました。消火薬剤を混合して放水した方が木材に対しての付着がより多かったことが見て体感できました。

※1 クラスA泡消火薬剤は合成界面活性剤(シャンプーと同じような成分)が主な成分で、水の表面張力を弱める力があります。表面張力を弱めることにより、濡れにくい隙間にも水を浸透させることができます。



「小型動力ポンプ」

可搬式のポンプのことで、消防車が入っていけないような場所の水源から水を使うときに、小型動力ポンプを使用して放水することができます。また、山火事では、消防車から火災現場までの距離や高低差が大きくなることもあり、消防車の力だけでは水を十分に送ることができない場合に、途中に小型動力ポンプを設けることで、水を十分に送ることができます。

